

法学部講演会

法学部 廣岡守穂教授の「ジェンダー政治論」では、例年、ダイバーシティの観点から障がいの問題にふれています。

今回ご講演いただく丸山 正樹氏は、2011年に聾者が直面する問題を取りあげた意欲作『デフ・ヴォイス』を上梓され、昨年の文庫化をきっかけに再び注目を集めています。

今回は「「ろう者」をとおして考える共存社会のありかた」というテーマで、聴覚障がい者が直面する課題をとおして差別と偏見について、丸山氏の小説や、重度の障がいを持つ奥様の介護を通じての実体験も交えてお話いただきます。

障がいについての問題に対する理解を深めるとともに、ジェンダーにまつわる問題について考えるまたとない機会となるでしょう。皆さんこそってご参加ください。

◆ **講演者** : 丸山 正樹氏 (小説家)

◆ **題目** : 「ろう者」をとおして考える共存社会のありかた

◆ **日時** : 2016年6月2日 (木)

4時限目～ (15時00分～約90分を予定)

※予約不要 (どなたでもご参加いただけます)

※手話通訳あり

◆ **場所** : 8号館8307教室

丸山 正樹氏 略歴



小説家

1961年、東京都生まれ。

早稲田大学第一文学部演劇科卒業。広告代理店でアルバイトの後、フリーランスのシナリオライターとして、企業・官公庁の広報ビデオから、映画、オリジナルビデオ、テレビドラマ、ドキュメンタリー、舞台などの脚本を手掛ける。

2011年、『デフ・ヴォイス』で小説家デビュー。